

(19) 日本国特許 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-131224

(43) 公開日 平成4年(1992)12月2日

(51) Int. Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F 13/15				
13/48				
5/44	A	7807-4C	A 6 1 F 13/18	3 0 0
		7603-4C	A 4 1 B 13/02	C
		2119-3B		

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全 2 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 実願平3-38495

(22) 出願日 平成3年(1991)5月28日

(71) 出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72) 考案者 梶井 明

栃木県宇都宮市氷室町1022-41

(72) 考案者 伊藤 毅人

栃木県芳賀郡市貝町市境4594

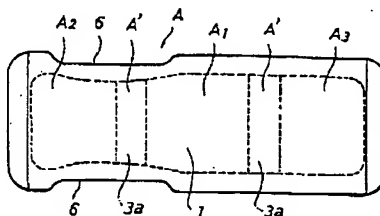
(74) 代理人 弁理士 羽島 修

(54) 【考案の名称】 吸収性物品

(57) 【要約】

【目的】 液漏れ防止性の向上に寄与する、装着時における幅方向のよれ防止性に優れ、且つコンパクトな包装に便利な吸収性物品を提供すること。

【構成】 液透過性の表面材1、液不透過性の防漏材2、及び液体保持性の吸収体3よりなる縦長の吸収性物品において、該吸収性物品をその長手方向において略3等分に区画する2つの区画部A'に対応する上記吸収体3の各箇所を、高密度部3aとする。



(2)

実開平4-131224

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 液透過性の表面材、液不透過性の防漏材、及びこれら両部材間に介在する液体保持性の吸収体よりなる縦長の吸収性物品において、該吸収性物品をその長手方向において略3等分に区画する2つの区画部に対応する上記吸収体の2箇所を、それぞれ高密度部としたことを特徴とする吸収性物品。

【請求項2】 上記高密度部が、上記防漏材から上記表面材に向かうにしたがって、密度が高くなっていることを特徴とする請求項1記載の吸収性物品。

【請求項3】 上記2つの区画部の前部分及び後部分部分が、これら両者間の中央部分に対して、それぞれ使用前においては略45度以上傾斜し、縦断面形状が凹型形状（但し、凹型の両先端が外側に傾斜している）になっていることを特徴とする請求項1および2記載の吸収性物品。

【請求項4】 上記2つの区画部を介して3つ折りされ、斯る3つ折り状態で、個装袋に圧縮されて又は減圧下に個装されていることを特徴とする請求項1乃至3記

載の吸収性物品。

【請求項5】 複数個の個装品が、1個の包装袋に圧縮されて又は減圧下に包装されていることを特徴とする請求項1乃至3記載の吸収性物品。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の吸収性物品の一実施例を示す展開した状態の平面図である。

【図2】 図1に示す吸収性物品の断面図である。

【図3】 図1に示す吸収性物品を3つ折りした状態を示す側面図である。

【図4】 図1に示す吸収性物品を高密度部を介して折り曲げて3つ折りした状態の斜視図である。

【符号の説明】

A 吸収性物品

A' 区画部

1 表面材

2 防漏材

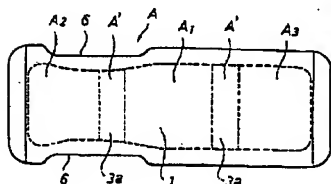
3 吸収体

3a 高密度部

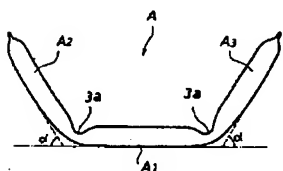
【図1】

【図2】

【図3】



【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

7603-4C

F I

A 61 F 13/18

技術表示箇所

370